



トウモロコシ

F1 ホワイトショコラ

ミルキー&ジューシーテイストの
純白コーン



トウモロコシ

F1 ホワイトショコラ

ミルキー&ジューシーテイストの純白コーン

品種特性

1. 相対生育日数86日タイプ。
2. 安定した発芽と初期生育で栽培しやすい。
3. 倒伏にも比較的強く、濃緑葉を形成。穂重 420g程度の2Lで揃い良好。
4. 白粒が極めて純白で、過熟気味での収穫でもボイル後でも、白粒のくすみが少ない。
5. 粒皮は柔らかく、爽やかな強甘味の中にミルキーでジューシーなテイスト。
6. 収穫適期幅が比較的長く、収穫後の鮮度保持にも優れる。

栽培のポイント

圃場準備

10a当たり完熟堆肥2t程度を施し、深耕する。地力に応じ、苦土石灰・ようりん等の土壤改良剤を投入する。

施肥（基肥）

10a当たりN:P:K=15:25:20(成分量)が標準であるが、あくまでも定期的な土壌診断の下に決める。作条散布では、さらにこの量から軽減できる

播種

栽植密度は10a当たり4000本程度が望ましく、1穴2粒播種で深度は3cm程度。

定植の際は老化苗を避け、2.5葉期程度で定植する。

間引き

3~4葉期の時、平均的な苗を1本立ちさせる。株元地際より切り取る。

追肥

生育状況で判断し、標準NK化成を10a当たり3kg程度(各成分量)を適宜施す。

開花後の施肥は効果薄のため避ける。

管理

無除けつ、無除房栽培を基本とする。大事な幼穂形成期には、トンネルの温度や露地を含めた水管理には特に留意する。また受粉期以降収穫期までは、十分な土壌の湿りが必要。

病虫害防除

土壌害虫(タネバエ・ハリガネムシ・ネキリムシ等)、茎葉付着・侵食害虫(アブラムシ・ヨトウムシ・アワノメイガ・オオタバコガ類)には、登録農薬の散布タイミングを誤らないようにする。紋枯れ病やすず紋病対策としても、登録農薬の適宜散布が効果的である。

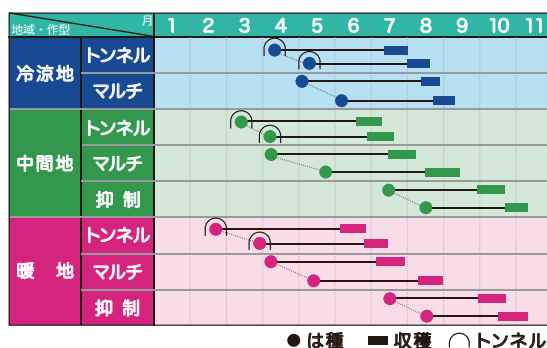
収穫

絹糸抽出日より21~25日程度を収穫日の目安として、平均的な穂の肥大具合や先端の粒色が鮮明な白色であること、食味確認で判断する。

その他の留意点

イエローやバイカラー種とは200~300m程度離すか、時間差をつけて播種することでキセニア(異種交雑)を回避することができる。特に受粉後収穫期までに過度な環境的ストレスに遭遇すると、生理的に粒の種子化が早まり、白粒に黄ばみが生じることがあるので注意。

作型図



ヴィルモランみかど株式会社

〒267-0056 千葉県緑区大野台1-4-11
TEL:043-311-6100 FAX:043-205-5503

vilmorinmikado.jp